

1. つぎの文章を読んで後の問いに答えなさい。

祖母のいる田舎で育った「私」は、小学校の最終学年を
 浜松の両親の元で暮らしたが、田舎でのんびりやっていた
 ために、中学の入学試験は不合格だった。そして、師範学
 校の附属小学校の高等科で一年勉強し、翌年の入試を受けた。
 試験から一週間程して合格者の発表があった。私はひとり
 それを見に行った。校門に張り出されている名前の中に、意
 外にも私は自分の名前を見出した。私は近所の商家の子で、や
 り合格者の中に名前を書かれてあった三ちゃんという友達に、
 自分が合格していることを家にしらせてくれるように頼んで、
 他の落第した少年たち三人と町外れの縁日を見に行った。軽業
 を見たり、小屋掛けの店を一軒一軒のぞき込んだりした。浜松
 へ来てから初めて気持ちのはれた日であった。もう再び受験勉
 強をすることもいかなかったし、入学試験を受ける必要もな
 かった。春の陽射しは暖かく、吹く風は頬にやわらかかった。落
 第した連中は発表の掲示を眼にした時はしよけていたが、縁日
 の雑踏の中へはいると、もうそのことを忘れてしまったらしく、
 平生と変わらぬように戯れて組打ちしたり、追ったり、追われ
 たりした。

この日も私は日が暮れてから家へ帰った。家には誰も居な
 かった。私が自分の部屋へはいつていると、外から帰って来た
 母が、庭先の方から私の部屋をのぞいて、

②「ああ居た！ 居ましたよ、おりましたよ」
 と叫んだ。するとやはり表の方から軍服姿のままの父がやって

来て、

「居たか！」
 と叫んだ。
 「はいれた」
 私が言うと、
 「はいれた!?」
 父は言った。
 「中学へはいれた」
 「中学へはいれた!?」
 父親は、複雑な表情で言った。
 「本当か。お前、どうかしているんじゃないか」
 「坂田屋の三ちゃんに聞いたら判る。僕も三ちゃんもはいった」
 私が言うと、母はすぐ駆け出して行った。私が言った坂田屋
 へ聞いただしに行ったものらしかった。間もなく母は帰って来
 て、父に、
 「はいったそうです」
 と言った。合格したことが判ると、とたんに父はどなった。
 「合格の発表を見たら、なぜそれをすぐ家に知らさぬか、ばか
 者！」

私は坂田屋の三ちゃんに家にしらせるように頼んでおいたの
 であつたが、三ちゃんは自分が入学したことのをうれしさと、私
 の伝言を忘れてしまったのである。母はこんどこそ私が自殺す
 るのではないかと思つたらしかつた。衛戍病院から帰つた父も
 母と同じことを考えたらしく、二人が心当りを探したり、警察
 へも届けたり、大騒ぎをしているところへ、私は帰って来たの

であつた。父は平生めつたにおこることはなかったが、この時
 は顔を赤くしておこつた。

(井上 靖「帽子」による)

*師範学校旧制度で、教員を養成した学校。現在の学芸大学・教育
 大学などの前身。
 *軽業 身軽に行く危険な曲芸。
 *小屋掛け 催し物のため、仮に小屋を作ること。
 *組打ち 取っ組み合い。
 *商家 商人の家。
 *衛戍病院 陸軍病院の旧称。

- (1) 線①「意外にも私は自分の名前を見出した」とありま
 が、この部分からわかることとして最もよいものを次から選
 び、記号で答えなさい。
- ア 当然、試験には合格するものだと思つていたが、少し心配
 もあつたので、合格してほつとした。
- イ 試験には合格すると思つていたが、予想していただほどの感
 動はなかつた。
- ウ 試験は不合格だと思つていたが、本当に不合格になつてみ
 ると、予想以上にショックが大きかつた。
- エ 試験は不合格だと思つていたが、予想が外れて、合格して
 いたことにおどろいた。

- (2) 線②「ああ居た！ 居ましたよ、おりましたよ」とあり
 ますが、そう叫んだときの母の気持ちとして最もよいものを次
 から選り、記号で答えなさい。



- ア 試験に合格して、本当によかつたという気持ち。
 イ 試験に落ちたことをなぐさめてあげようという気持ち。
 ウ 無事で帰ってきてくれてよかつたという気持ち。
 エ 日が暮れるまで帰つてこなかつたことをせめる気
 持ち。
- (3) 線③「複雑な表情」とありますが、なぜ複雑な表情になつ
 たのでしょうか。最もよいものを次から選り、記号で答えな
 さい。
- ア 子どもが家にいたのでとても安心したうえに、試験に合格
 したと聞いて、さらに安心したから。
 イ 試験に合格するとは思つていなかったため、子どもの言葉
 を聞いても、全く信じられなかつたから。
 ウ 子どもがうそをついたことをおこるより、そこまで追いつ
 めてしまった自分が悪いと思つたから。
 エ すぐわかるうそを言うほど、子どもがしかられることをお
 それているのがわかつたから。
- (4) 線④「この時は顔を赤くしておこつた」とありますが、
 だれがどうしたことに對しておこつたのですか。三十文字以内で
 書きなさい。



2. つぎのぼう線部の漢字をひらがな、ひらがなを漢字にしなさい。

- ① 順番を守りましょう
- ② 反対意見を唱えた
- ③ 日照りつづきの毎日です
- ④ 古い城下町
- ⑤ 信用を大事にする店
- ⑥ 一月の成人の日
- ⑦ つめたい井戸水
- ⑧ 係の人が説明してくれた
- ⑨ この湖は浅いようです
- ⑩ 奈良県をたずねる
- ⑪ 熱心に仕事をしている
- ⑫ 信念にもとづいて生きる
- ⑬ 博物館の受付係

⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

- ① 長い間まつ
- ② じゅうだいなことをたのむ
- ③ 本のだimeiがわからない
- ④ 有名人とのたいだん
- ⑤ コップに水をそそぐ
- ⑥ にわさきに小鳥があつまる
- ⑦ はながよくきく
- ⑧ おもてとらをたしかめる
- ⑨ サッカーぶに入る
- ⑩ 新しいふくを買う
- ⑪ かわいいどうぶつたち
- ⑫ ひらたい入れもの

⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

3. 次のそれぞれの文の□の述語に対する主語を、線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① アさわやかなイ風がウそよそよと□ふく。
- ② アかの女のイ歩くウ姿はエとても□きれいだ。

- () ()
- () ()